

M T P

(マネジメント研修プログラム)

—「マネジメント」を一から学習する—

管理者(マネジャー)に対する訓練として最も普及しているのが、M T Pといわれる訓練です。このM T Pというのは、Management Training Programの省略形で、もともとは米軍から通産省(現：経済産業省)が譲り受けて普及させてきたものです。

戦後のわが国産業の発展に、産業教育が大きく寄与していることは誰しも認めるところですが、M T Pはその口火を切ったばかりでなく、その後の歴史の中で、改訂を重ね、“古くして、今なお新しい”ものとして、大変大きな功績をあげ、わが国産業界から大いに認められています。

M T Pは、管理者向け基礎訓練として、管理の原理原則を中心に訓練しているものです。中でも、人間行動の原理原則を重点的に研修します。ですからその点では、たとえ終戦直後に導入された昔の訓練といっても、決して古いものではないのです。

回カリキュラム

第Ⅰ部 マネジメントの基礎 第1セッション マネジメントの基本的な考え方 第2セッション マネジメントと人間行動及び組織	「マネジメント」というものを、多面的な角度から学習する上でのベースとなる——「人の行動の理解」および「組織の特徴」を学ぶ。また、今後のマネジメントでの重要なポイントであるダイバーシティについても研究する。
第Ⅱ部 マネジメントプロセス 第3セッション 計画 第4セッション 指揮・命令(指示) 第5セッション 統制 第6セッション 調整	マネジメントプロセスについて学習する。単に、Plan-Do-Seeについて学ぶだけでなく、プロセスを上手く展開するためにマネジャーが日々具体的にマネジメントするかについて研究する。
第Ⅲ部 問題解決とリスクマネジメント 第7セッション 問題解決の基本 第8セッション 仕事の改善の実践	マネジャーの役割のひとつである「変革」や「仕事の改善」について、ベースとなる問題解決の考え方や問題意識について学ぶ。また、近年ますます重要になっているリスクマネジメントについても研究する。
第Ⅳ部 信頼関係の形成 第9セッション 欲求不満への対処と態度の啓発 第10セッション 人をめぐる問題の解決	事例研究を中心に、人間関係の諸問題について検討する。また、コミュニケーションと積極的傾聴について、ロールプレイングによる体験学習を行う。また、「パワーハラスメント」「セクシャル・ハラスメント」についても学ぶ。
第Ⅴ部 育成と啓発 第11セッション 育成の考え方 第12セッション メンバーの育成	「育成」の基本的な考え方と、マネジャーが遂行すべき具体的な育成方法——「新しいメンバーの迎え方」「示範」「叱る・ほめる」等について学ぶ。
第Ⅵ部 良いマネジメントの実現 第13セッション リーダーシップ 第14セッション マネジメントの展開	「リーダーシップ」とは何か、リーダーシップのスタイルについて研究する。さらに、マネジメントの集大成として、「状況対応リーダーシップ」について学ぶ。ケースを通じて、M T Pで学んできた事柄を総復習する。

M T P (マネジメント研修プログラム) 開催要領

日 時	令和5年11月2日(木)、15日(水)、21日(火)、12月6日(水)、13日(水)、20日(水)の6日間/各日9:30~16:30
会 場	群馬県中小企業会館《前橋市大手町3-3-1》
定 員	14名(最少催行人員6名) ※最少催行人員に達しない場合、中止させていただくことがあります。
参 加 費	会員企業=1名につき99,000円 / 非会員企業=1名につき148,500円 (いずれも消費税、資料代、6日間の昼食代込み)
講 師	一般社団法人日本産業訓練協会 認定インストラクター 一般社団法人群馬県経営者協会 専務理事 五十嵐 亮 二
申 込 方 法	①下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXやメール等でお送りください。 ②開催が決定しましたら、参加費のご請求書をお送りいたします。
申込締切日	令和5年10月19日(木) ※定員になり次第締め切ります。
注 意 事 項	①本研修は6日間の通いとなります。欠席や遅刻・早退、中断が多いと、修了できない場合があります。 ②筆記用具等は各自ご持参ください。 ③参加費ご入金後の返金はいたしません。また、締切日以後のキャンセルの場合は、資料代等が発生するため、全額ご請求いたします。
お問い合わせ先	一般社団法人群馬県経営者協会 担当 五十嵐 亮 二/塩 野 梓 TEL:027-234-2770 FAX:027-234-2771 E-mail:igarashi@gunkeikyo.net

群経協行 FAX:027-234-2771 igarashi@gunkeikyo.net

「M T P (マネジメント研修プログラム)」参加申込書

会社名		TEL	
担当者ご芳名		所属・役職	
E-mail			

参加者氏名 (ふりがな)	所属・役職	年 齢	勤 続
()		歳	年
()		歳	年
()		歳	年

回過去の講師派遣実施企業・公開講座参加企業 (順不同・敬称略)

小倉クラッチ、関東開発、ポートネットワーク、ナカヨ、八木工業、芹沢システムリサーチ、カースチール、上毛電業、星野物産、群馬県建設技術センター、スナガ、大西ライト工業所、プリエッセ、ミツパロジスティクス、桐生ガス、ヨシカワ、両毛システムズ、ケービックス、澤藤電機、山田製作所、富士スバル、ぐんま安全教育センター、藤生製作所、前橋運輸、上電通運、親広産業、太田治工、渋川製作所、赤城自動車教習所、矢島工業、日本ケロッグ、クシダ工業、きのした、コガックス、東亜工業、ラジエ工業、日望会、イチタン、石島運輸倉庫、三立応用化工、両毛インターネットデータセンター、デンカ、ヤマト発動機、高崎共同計算センター、TI Automotive Japan Gunma、第一石炭、東京特殊硝子、OPENER、フジハツ工業、旭化成、トヨタカローラ群馬、IPF、他